（その2）

核燃料物質輸出計画報告書

工場又は事業所コード		報告期間 年月日から 年月日まで		エントリー行数 受払等データ	注釈データ		
1 4	5 8	13 FROM 18 19 TO 24	25 28	29 30	33 34		80
（注１）		（注5）		（注３）	（注４）		M

施設コード		エントリー番号	データ継続コード	受払コード	予定年月日 FROM	予定年月日 TO	相手先施設コード	単位体数	物質記述コード	供給当事国コード	元素コード	元素重量	単位	濃縮度（%） FROM	濃縮度（%） TO	注釈コード	データ変更	データ変更 エントリー番号	
1 4	5 8	9 10	11	12 15	16 21	22 27	28 31	32 35	36 39	41 46	47	49 56	57	59 63	65 69	73	74 77	78 79	80
（注５）		（注６）	（注７）	SF	（注８）		（注９）	（注10）	（注11）	（注12）	（注13）	（注14）	（注15）	（注16）		（注17）		（注18）	N
				SF															N
				SF															N
				SF															N
				SF															N
				SF															N
				SF															N
				SF															N
				SF															N
				SF															N
				SF															N
				SF															N
				SF															N
				SF															N
				SF															N
				SF															N
1 4	5 8	9 10	11	12 15	16 21	22 27	28 31	32 35	36 39	41 46	47	49 56	57	59 63	65 69	73	74 77	78 79	80

頁中　頁

注１　別記様式第４の注４の例により記載すること。
２　毎年１月１日から６月30日まで又は７月１日から12月31日までの期間を記載すること。
３　別記様式第４の注６の例により記載すること。
４　別記様式第４の注７の例により記載すること。
５　別記様式第４の注５の例により記載すること。
６　別記様式第４の注９の例により記載すること。エントリー番号が「９９」を超える場合は、「９９」の次のエントリー情報を「０１」から欠番、重複のない一連の番号を記載すること。
７イ　報告する輸出に含まれる核燃料物質の区分が２種類以上である場合又は元素重量若しくは核分裂性物質重量が８桁を超えることにより、複数行で報告する必要が生じる場合は、当該欄の２行目以降に「C」と記載すること。
ロ　既に提出した報告書について修正する場合（輸出を取りやめる場合を除く。）は「R」と記載すること。
ハ　輸出を取りやめる場合は「A」と記載すること。
８　各輸出計画の開始年月日及び終了年月日を記載すること。
９　核燃料物質の輸出する予定の相手先の施設コードを記載すること。
10　輸出する予定の単位体数を記載すること。
11　別記様式第４の注17の例により記載すること。
12　輸出する核燃料物質について、次の表の左欄に掲げる区分に応じ、それぞれ右欄に掲げる事項を記載すること。

カナダ	C
オーストラリア	A

13　別記様式第４の注19の例により記載すること。
14　別記様式第12の注14の例により記載すること。
15　別記様式第12の注15の例により記載すること。
16　低濃縮ウラン又は高濃縮ウランの場合のみ百分率で小数点第２位まで記載すること。
17　既に提出した報告書について修正をする場合又は注釈を添付する場合は「X」と記載すること。
18　既に提出した報告書について修正をする場合は当該修正に係る報告書のエントリー番号を記載すること。
備考１　この用紙は、日本産業規格Ａ４のつづり込み式とすること。
２　この報告書は、工場又は事業所ごとに別葉で作成すること。